

《履修上の留意事項》面接授業のみ実施

《担当者名》○鈴木英樹 澤田篤史

【概 要】

近年の急速な高齢化や食生活習慣の欧米化、慢性的な運動不足といった様々な生活習慣の変化に伴い、肥満や糖尿病を含む生活習慣病の発生率が増加している。また産業保健分野では、労働環境の多様化により、労働者の健康状態の悪化や労働災害の増加が問題となっている。本科目では、健康増進や生活習慣病の一次予防を目的とした「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」について学習するとともに、産業保健分野における理学療法士の取り組みについて理解する。

【学習目標】

健康増進分野や産業分野における理学療法に関する知識を理解するため、各々の背景にある関係法令や現状、課題を学び説明ができる。

1. 健康日本21について理解し、説明することができる。
2. 健康日本21における行動目標について理解し、その目標達成のために理学療法士が果たすべき役割を説明することができる。
3. 産業保健分野における理学療法の現状や課題について理解し、説明することができる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	健康日本21総論	我が国の健康水準について、健康日本21を通して健康施策に対する基本戦略やその取り組みについて解説する。	鈴木英樹
2 5 6	健康日本21各論	健康日本21の各論のうち、理学療法士が関わることの多い「栄養・食生活」「運動・身体活動」「糖尿病」「循環器病」「がん」の5テーマについて取り上げる。それぞれの基本方針、現状と目標、対策を踏まえて、健康増進プランの作成を行う。	澤田篤史
7 8	産業保健分野における理学療法	産業保健分野における理学療法士の役割や活動の現状、今後の課題について解説する。	鈴木英樹

【評価方法】

レポート 100%

レポート提出後、問合せがあった場合にはフィードバックを行うこととする。

【備 考】

教科書 : 特に定めない。

参考書 : 随時紹介する。

その他 : 健康日本21に関する厚生労働省のHPを参照し、自己学習を行うこと。
http://www1.mhlw.go.jp/topics/kenko21_11/top.html

【学習の準備】

予習は、次回の授業範囲について自己学習を行い理解しておくこと（80分）。

復習は、配布プリント等を活用し学習を深めること（80分）。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP4）リハビリテーション専門職として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれらの人々が営む生活に対して、適切に対処できる実践的能力を身につけます。

【実務経験】

鈴木英樹（理学療法士）

澤田篤史（理学療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関及び行政での勤務経験を踏まえ、健康増進のために理学療法士が実践できる内容及び実践すべき内容について具体的な

実践について講義する。